

平成 21 年度・平成 22 年度
～ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業実施団体
好事例集～
【(社)東京グラフィックサービス工業会(DTP・製版・
営業・印刷・製本)】

○モデル事業導入にあたって

グラフィックサービス工業に携わる中小零細印刷会社においては、教育に係る予算・人員に余裕がなく、企業毎の採用時における社員教育の体系化が課題とされてきた。そのため、特に新入社員教育においてはどの会員企業もその年毎に、手探りの状態で実施しているのが現状であった。

そこで、会員企業の、特に新入社員採用時の教育システムを支援し、中・長期に渡る中核人材の育成を目的に座学とOJTを組み合わせた「実践型人材養成システム」の普及・啓発と、各会員企業でのシステム導入を推進することになった。

○企業におけるメリット

- ・助成金制度による、訓練実施のための経費等の負担軽減
- ・業界標準に基づくカリキュラムの作成が可能
- ・OJT訓練担当者のレベルアップ
- ・Off-JT教育による新入社員の教育レベルを確保
- ・ジョブ・カードによる職能レベルの把握が可能
- ・厚生労働大臣認定企業として、求人等で優位性が得られる

○モデル事業実施（訓練実施）における好事例

- ・社内カリキュラムの体系化とブラッシュアップ
- ・OJT訓練担当者の意識向上
- ・OJT教育における訓練後の目的（中核人材の育成等）の明確化
- ・Off-JTでの集団教育で、新入社員同士の横の連携を構築
- ・日報等の記録を取ることの定着化

○これから取り組む企業の方へ

グラフィックサービス工業における、業界標準カリキュラムを基にして、自社にあった教育カリキュラムの作成が可能になります。中・長期的な人材育成の端緒として、本システムを活用することで、将来的に会社の中核をなす人材が育つものと確信しています。